

事務事業名	平和推進事業		所属部局	総務部	単位番号	3036					
			所属課室	総務人事課	課長名	石原 康雄					
			所属担当	総務選挙担当	担当者名	花輪 俊明					
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		06	安全な環境づくり	01	一般	02	01	12	020	20	
政策		11	安心できる市民生活の実現	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	核兵器廃絶平和都市宣言						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 核兵器廃絶の啓蒙活動等を通じて世界で唯一の被爆国である日本の惨状を語り伝えることにより、核兵器の無い世界を創り、真に平和が訪れることを願い実施する。 小中学校へ被爆体験講話及び原爆パネル展の要望調査 被爆体験者との調整 原爆パネルの貸し出し 被爆体験講話の実施			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報償費 18 需用費 6 役員費 6 計 30							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 市内小中学校への被爆体験講話の実施(7校) 27年度活動予定 市内小中学校への被爆体験講話の実施
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・小中学校生 ・一般市民
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	平和の尊さを知る
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	世界平和

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 平和記念式典への参加者 人 イ 小中学校への被爆体験講話・原爆パネル展 回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 小中学校生 人 イ 市民 人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 講話を聴いた小中学校生 人
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 平和の尊さを知った小中学生の割合 %

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	27	135	30	46	46	46
	事業費計(A)	千円	27	135	30	46	46	46	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30		
	人件費計(B)	千円	137	137	137	137	137	0	0
	(A)+(B)	千円	164	272	167	183	183	46	0
活動指標	ア	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	イ	回	8.0	5.0	7.0	5.0	5.0	5.0	
対象指標	ア	人	7,046.0	6,918.0	6,643.0				
	イ	人	72,566.0	72,181.0	72,963.0				
	ウ								
成果指標	ア	人	572.0	450.0	300.0	300.0	300.0	300.0	
	イ								
上位成果指標	ア	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併当初より、核兵器廃絶平和都市宣言を行ったことを契機に取り組みが開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平和記念式典への参加希望者(各種市民団体代表)が減少している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	被爆体験者の講話については、学校関係者から好評を得ている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平和記念式典への参加を市民団体の代表者へ依頼しているが、盆時期ということもあり参加希望者がなく、お願いして参加してもらっている状況。参加自体を考え直す必要がある。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	今年度は参加を見送り、その予算を使って図書館に関係DVD等を購入した。

事務事業名	平和推進事業	所属部	総務部	所属課	総務人事課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 誰もが安全で安心して暮らしていくために世界平和を唱えていく必要がある
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 戦争の悲惨さや惨状を後世に伝えていくことは、自治体の責務である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 誰もが安全で安心して暮らしていくために世界平和を唱えていく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 被爆体験者自身が少なく、事業を発展させることは難しい。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを後世に伝えていくためには、継続していくことが最も重要なことだと考える。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 今年度、関連書籍やDVDを購入したため、当面は購入する必要がない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 式典への随行等削減したため、削減の余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 平和記念式典の参加を取りやめる。 平和記念式典参加希望者を各種市民団体から市民全体へ拡大し募る。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	講師の高齢化を踏まえて今後の事業を検討していくべきである。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について さらに広く小中学校に対し、本事業を周知するとともに、事業の様子を広報やCATVなどで市民にも周知する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 現在の講師のほかに講話を行うことができる人がいないため、人材の確保が必須。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					